

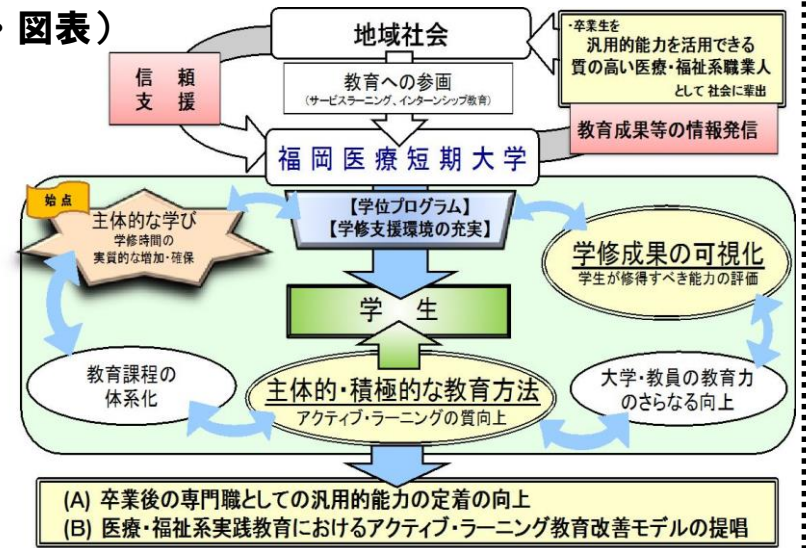
大学等名：福岡医療短期大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

**取組概要** この取組は、専門教育におけるアクティブ・ラーニングの充実と汎用的能力の育成、学修成果の可視化による教育改善を推進するものです。①汎用的能力判定テスト、②学修行動等の学生アンケート調査、③産業界のニーズを反映したルーブリックを用いた学修評価、④「振り返り」学修を支援するポートフォリオの取組を通じて、初年次・インターンシップ前・インターンシップ教育における6種類のアクティブ・ラーニング教育改善モデルの提唱と、卒業後に汎用的能力を活用できる優れた人材養成を推進します。

**（取組のポイント・図表）**

- ・大学教育において汎用的能力の育成が求められています。その中で、本学卒業生対象の卒後追跡調査において対人基礎力等の汎用的能力の定着度が低いことが明らかになりました。その課題に焦点をあてて、医療・福祉系アクティブ・ラーニングの「教育方法の改善」と「学修成果の可視化」の取組を推進していきます。
- ・下記の2つを達成目標として事業を推進します。
  - (A) 卒業後の専門職としての汎用的能力の定着の向上
  - (B) 医療・福祉系アクティブ・ラーニング教育改善モデルの提唱
- ・最終成果物として、他の医療・福祉系実践教育や短期大学保育学等においても共有・活用できるよう、アクティブ・ラーニング事例集を作成し、ルーブリックを活用した医療・福祉系実践教育における教育改善モデルを提唱します。



**【事業の成果】**

	26年度 (実績値)	令和元年度 (目標値)	令和元年度 (実績値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	100%	100%	100%
学生の授業外学修時間	2.3時間	14時間	29.92時間
卒業後の汎用的能力の定着度 (1年目・3年目とも) (満点5.0)	—	3.2点	1年目3.24点 3年目3.73点

・ALを受講する学生の割合は起点から100%を維持していた。また、課外学修の促進を図る方を講じたことにより、授業外学修時間については目標値を大きく上回る成果であった。

・教育方法の改善及び学習成果の可視化の教育改革によって、修得した汎用的能力が卒業後さらなる定着を果たしていることが確認された。